

令和8年度第1回岩手県アレルギー疾患医療連絡協議会

日時：令和8年7月27日（月）18時30分～20時00分

場所：県庁12階 特別会議室（WEB併催）

次 第

1 開会

2 挨拶

3 議題

- （1） 令和8年度岩手県アレルギー疾患対策事業計画について
- （2） 岩手県アレルギー疾患医療拠点病院における令和8年度診療体制及び取組計画について
- （3） アレルギー疾患診療可能医療機関調査について

4 報告

- （1） 学校における食物アレルギー対応における事故及びヒヤリハット報告（令和7年度）について
- （2） 岩手県と（公社）岩手県栄養士会との災害時における支援協定の締結について
- （3） 研修受講報告：令和7年度アレルギー疾患対策従事者研修について

5 閉会

<配付資料>

- 資 料 1 令和8年度岩手県アレルギー疾患対策事業計画
- 資 料 2 令和8年度岩手県アレルギー疾患医療拠点病院医療体制及び取組計画
- 資 料 3 アレルギー疾患診療可能医療機関調査について
- 資 料 4 学校における食物アレルギー対応における事故及びヒヤリハット報告（令和7年度）
- 資 料 5 岩手県と（公社）岩手県栄養士会との災害時における支援協定
- 資 料 6 令和7年度岩手県アレルギー対策自治体職員を対象とした人材育成
- 参考資料1 令和7年度第2回岩手県アレルギー疾患医療連絡協議会（令和8年2月3日開催）構成員からの主な意見
- 参考資料2 第20回アレルギー疾患対策推進協議会資料（令和8年5月27日開催/厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病予防対策課）

岩手県アレルギー疾患医療連絡協議会構成員名簿

	氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
1	天 野 博 雄	岩手医科大学医学部 皮膚科学講座 教授	会長
2	石 川 健	岩手医科大学医学部 小児科学講座 特任教授	新(WEB 出席)
3	金 村 清 孝	一般社団法人岩手県歯科医師会 理事	
4	北 舘 真由美	盛岡市子ども未来部母子健康課 栄養副主幹	
5	佐々木 美 香	独立行政法人国立病院機構 盛岡医療センター 統括診療部長	
6	篠 崎 毅	独立行政法人国立病院機構 盛岡医療センター 院長	
7	瀬 川 郁 雄	一般社団法人岩手県医師会 常任理事	(WEB 出席)
8	千 葉 隆 史	一般社団法人盛岡市医師会 理事	欠席
9	長 島 広 相	岩手医科大学医学部 内科学講座呼吸器内科分野 特任准教授	
10	藤 本 穰	岩手医科大学医学部 内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野 教授	(WEB 出席)
11	本 田 昭 二	一般社団法人岩手県薬剤師会 常務理事	新
12	松 本 主 之	岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科分野 教授	(WEB 出席)
13	村 里 智 子	独立行政法人国立病院機構 盛岡医療センター 管理栄養士	
14	目 時 の り	公益社団法人岩手県看護協会 常務理事兼教育部長	
15	山 内 広 平	医療法人松誠会 滝沢中央病院 院長	
16	山 内 美 枝	いわてアレルギーの会 代表	
17	吉 岡 美 子	公益社団法人岩手県栄養士会 会長	

任期：令和9年6月30日まで

【事務局】

1	千葉 智 貴	岩手県保健福祉部 健康国保課総括課長	
2	千葉 典 子	〃 健康国保課 健康予防担当課長	
3	長 坂 聡 美	〃 〃 主任主査	
4	坂 下 藤 子	〃 〃 主任	
5	高 橋 栞 菜	〃 〃 技師	
6	佐 賀 唯 衣	〃 子ども子育て支援室 主任	
7	阿 部 芳 肇	岩手県復興防災部 防災課 主幹兼防災危機管理担当課長	
8	菊 池 英 里	岩手県教育委員会事務局 保健体育課 指導主事	
9	山 生 睦	〃 〃 指導主事	

岩手県アレルギー疾患医療連絡協議会設置要綱

(目的)

第1 本県におけるアレルギー疾患対策を推進するため、適切な医療提供及び相談支援に係る持続可能な体制の構築に向けて、岩手県アレルギー疾患医療連絡協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2 協議会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 「アレルギー疾患対策基本法」（平成26年6月27日法律第98号）に規定する岩手県のアレルギー疾患対策に関すること。
- (2) アレルギー疾患に係る診療連携体制の整備並びに情報提供及び人材育成等の推進に関すること。
- (3) その他総合的なアレルギー疾患対策の推進に必要な事項。

(組織)

第3 協議会は、保健福祉部長が就任を依頼する構成員20人以内をもって組織する。

2 構成員の任期は2年間とする。

3 構成員に欠員が生じた場合における補欠構成員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第4 協議会に会長を置き、構成員の互選とする。

2 会長は、協議会の会務を総理し、会議の議長となる。

3 会長が事故等で不在のときは、あらかじめ会長が指名する者がその職務を代理する。

4 会長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を述べさせることができる。

(会議)

第5 協議会は、保健福祉部長が招集する。

(庶務)

第6 協議会の庶務は、保健福祉部健康国保課において処理する。

(補則)

第7 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、保健福祉部長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年9月6日から施行する。

附 則（一部改正）

この要綱は、令和4年3月1日から施行する。

附 則（一部改正）

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

令和7年度第2回岩手県アレルギー疾患医療連絡協議会 (令和8年2月3日開催) 構成員からの主な意見

参考資料

令和8年7月27日
第1回岩手県アレルギー
疾患医療連絡協議会

議事	質問・意見	回答
(2)令和8年度岩手県アレルギー疾患対策事業実施計画について	保育所向けアレルギー対応ガイドラインの作成 2019年に国のガイドラインが改訂され、その後7年間改訂されておらず、現状も踏まえたガイドラインを作成したいと考える。	県としてガイドラインを策定し、現場への普及を図るためには、国のガイドラインの改訂等を踏まえる必要があると考えております。施設が対応マニュアルを作成する際に、安全性や実効性を高めるための参考資料の作成を検討します。
	学校給食における乳製品使用量の把握 給食で提供される乳について、調理に使用される量を給食献立を提出してもらうことにより、正確な量を把握したい。	学校給食で提供される乳製品の量を正確に把握することは、食物アレルギーのある児童生徒に対する適切な医療的助言や支援につながるものであり、その重要性について理解しております。一方で、市町村立学校における学校給食の献立作成や食材に関する情報の管理・提供については、学校設置者である各市町村教育委員会等において対応されております。そのため、県教育委員会としては、直接的に対応することは困難ではありますが、献立や使用食材に関する詳細な情報につきまちは、各市町村教育委員会に御相談いただくことで、必要な情報の確認につながるものと考えております。
	対面販売やキッチンカーでのアレルギー表示 ナッツ類のアレルギーが増えており、特にキッチンカーや対面販売の菓子店などで購入した食品で事故が起きている。営業者の方々が集まるような場で周知するか、いろんな方法を県の立場で御提案いただきたい。	外食や対面販売、インストア加工は、食品表示法の表示義務の範囲から外れるため、事業者の自主的な取組を促します。 保健所や担当課と連携し、事業者が参集する場で、消費者庁作成の啓発媒体を活用した啓発を行います。
	アレルギー診療情報の県ホームページ掲載 青森県では、アレルギー診療に関する情報がホームページで公開されており、岩手県でも取り組めないか提案したい。	令和8年度第1回協議会 議事(3)にて協議(資料3)
(5)その他	学校における食物アレルギー事故及びヒヤリ・ハット報告について	令和8年度第1回協議会 報告(1)にて報告(資料4)

令和8年度岩手県アレルギー疾患対策事業計画

資料 1

令和8年7月27日
第1回岩手県アレルギー
疾患医療連絡協議会

1 岩手県アレルギー疾患医療連絡協議会

2回開催予定(第1回目:7月29日・第2回目:令和8年2月予定)

2 普及啓発

項 目	内 容(予定)	時期・場所	対象(人数)	備 考
アレルギーポータルサイトでの情報提供【継続】	掲載情報の更新 ポータルサイト閲覧分析	随時	一般県民、アレルギー疾患のある患者や家族、医療従事者・園教育関係者、行政担当者等	2か月ごとの閲覧分析
ポータルサイト及び相談窓口の周知【継続】	県政番組、拠点病院等による周知	随時	一般県民	
岩手県アレルギー相談窓口【継続】	<アレルギー疾患医療拠点病院> ・盛岡医療センター ・岩手医科大学附属病院	・電話またはメール、Zoomによるオンライン相談 ①電話・Zoom相談: 毎週金曜日 11時～13時 ②メールによる相談:随時	アレルギー疾患のある患者や家族、医療従事者・園教育関係者、行政担当者等	
アレルギー講演会	「学校保健研修会」 講義「学校におけるアレルギー対応について」 講師:盛岡医療センター 佐々木朋子 氏	令和8年10月23日 予定	公立学校教職員	主催:岩手県教育委員会
	アレルギー週間市民公開講座 内容・講師:調整中	令和9年3月 盛岡市内 予定	一般県民	主催:岩手県/岩手医科大学/ 日本アレルギー協会東北支部 岩手県アレルギー疾患医療拠点病院 (予定)

3 人材育成

項目	内 容(予定)	時期・場所	対象(人数)	備 考
アレルギー疾患医療等従事者研修会【継続】	「エピペン®講習会」 アナフィラキシーショックへの対応について 講義・エピペン®対応演習 講師(予定) アレルギー疾患医療拠点病院 医師・看護師・薬剤師・管理栄養士 等	時期 ①令和8年10月16日(金) ②令和8年11月20日(金) 場所 ①盛岡医療センター ②消防学校	消防士、救急救命士等	主催:岩手県 盛岡医療センターへの委託 協力:岩手県アレルギー疾患医療拠点病院/県消防安全課
	「アレルギーオンライン研修会」 動画配信予定:食物アレルギーを中心としたアレルギーに関する最新の情報等 講師(予定) アレルギー疾患医療拠点病院 医師等	令和9年1月(予定)	保育施設、学校、行政のアレルギー相談対応者等	主催:岩手県/いわてアレルギーの会 協力:岩手県アレルギー疾患医療拠点病院
	「中堅期職員研修/スキルアップ研修会」 講義「学校におけるアレルギー対応指針の改定について」 講義・演習「食物アレルギーについて」 講師「交集中」	令和8年8月4日予定 岩手県立総合教育センター	栄養教諭(中堅期) 採用11年目職員	主催:岩手県教育委員会
	「アレルギー拠点病院ミーティング」 事例検討・研修等	随時(年4回程度)	アレルギー疾患医療拠点病院従事者 医師・薬剤師・看護師・管理栄養士等	主催:岩手医科大学 岩手県アレルギー疾患医療拠点病院
	「令和8年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修」 内容:食育・アレルギー対応について 講師:盛岡医療センター/岩手県栄養士会	令和8年8月7日～8日 岩手県産業会館	保育所等 保育士・栄養士等	主催:岩手県保健福祉部子ども子育て支援室 (民間事業者への委託)
アレルギー疾患相談専門職員研修派遣	「専門職員研修派遣」 地域の実情に応じたアレルギー疾患対策の推進や対応の質の向上を図るため、地方公共団体で中心的な役割を担う職員に対する資質向上のための派遣研修		盛岡医療センター職員	盛岡医療センターへの委託事業

4その他

項目	内 容(予定)	時期・場所	対象(人数)	備 考
その他	各種研修案内等の情報提供	通年/随時	行政及び各施設のアレルギー疾患対策担当者等	※教育委員会保健体育課、学事振興課、子ども子育て支援室、長寿社会課、健康国保課からメールによる一斉送信による周知
	学校等の緊急時対応研修におけるエピペントレーナー貸出	通年/随時	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等	実施主体：岩手県教育委員会
	「保健体育行政関係調査」 調査内容：アレルギー対応状況を含む学校給食の情報共有の状況について	令和8年12月～ 令和9年1月予定	学校給食を提供する公立小中学校及び県立特別支援学校	実施主体：岩手県教育委員会
	【新規】乳幼児食物アレルギー患者調査 調査内容：食物アレルギーの診断の有無	通年/随時	3～4か月児、1歳6か月児、3歳児の乳幼児健診対象児	乳幼児健診情報システムを活用した調査
	【新規】アレルギー診療に関する実態調査	令和8年11月頃(予定)	岩手県内の内科、小児科、アレルギー科、耳鼻咽喉科等を標ぼうする医療機関	

令和8年度岩手県アレルギー疾患医療拠点病院医療体制 及び取組計画 <岩手医科大学附属病院>

資 料 2

令和8年7月27日
第1回岩手県アレルギー
疾患医療連絡協議会

1 アレルギー診療院内連携体制

(1)医師

配置状況	小児科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	消化器内科	呼吸器内科	皮膚科	計
アレルギー診療担当医師数 (うちアレルギー専門医)	2人※ (2人※非常勤)	3人 (1人)	1人	3人 (2人※うち1人非常勤)	1人	10人 (5人※うち3人非常勤)

(2)アレルギー疾患に専門的知識と技能を有する者

職 腫	薬剤師	看護師	管理栄養士	計
人 数	1人	1人	1人	3人※

※うち、小児アレルギーエドゥケーター 1人 アレルギー疾患療養指導士 1人

2 令和8年度取組計画

項 目	対象及び内容
1 診療	・岩手医科大学附属病院「臨床免疫センター外来」 開設日：令和6年5月7日 ※令和8年4月の矢巾統合により内丸から移動
2 情報提供 (講演会含む)	・「アレルギーポータルいわて」内での情報提供 ・アレルギー市民公開講座の開催 開催日：令和9年3月予定 場所：盛岡市内
3 人材育成	・アレルギー拠点病院合同ミーティングの開催 対象：拠点病院アレルギー診療・相談等従事者 開催回数：年4回程度 ・アレルギー疾患の研修会の開催(2回) 対象：岩手医科大学附属病院・盛岡医療センターのアレルギー関係者
4 調査・研究	・炎症性腸疾患活動性マーカーLRGのリウマチ性疾患、間質性肺炎、アトピー性皮膚炎、気管支喘息の気道炎症における発現の分子機序の解明
5アレルギー疾患対応への助言、支援	・アレルギー相談窓口 主に成人を中心とした相談や指導者への助言 電話、ズームによる相談 毎週金曜日11:00～13:00 メールによる相談 随時
6 その他	

令和8年度岩手県アレルギー疾患医療拠点病院医療体制 及び取組計画 <盛岡医療センター>

1 アレルギー診療院内連携体制

(1)医師

配置状況	小児科	呼吸器内科	計
アレルギー診療担当医師数(うちアレルギー専門医)	2人 (2人)	3人 (1人)	5人 (3人)

(2)アレルギー疾患に専門的知識と技能を有する者

職 種	薬剤師	看護師	管理栄養士	計
人 数	0人	4人	2人	6人※

※うち、アレルギー疾患療養指導士5人 小児アレルギーエドゥケーター5人(看護師3人、栄養士2人)

2 令和8年度取組計画

項 目	対象及び内容
1 診療	R7年度診療実績 外来経口負荷試験 394名 入院経口負荷試験(日帰り) 513名
2 情報提供 (講演会含む)	・「アレルギーポータルいわて」内での定期的な情報提供 <通年> ・講演会等講師対応:7月現在確定件数 10件 対象:一般市民、家族、教育機関、保育施設、医師会、栄養士会
3 人材育成	・エビペン講習会の開催 対象:救急救命士・消防隊員等(岩手県との共催) 開催日:10月8日、11月20日 場所:盛岡医療センター研修室、岩手県消防学校 ・災害時アレルギー対応炊き出しセミナー:いわてアレルギーの会(主催)と連携 第1回開催日:10/12、場所:久慈地区合同庁舎、第2回開催日:11/22、場所:キャラホール 対象:行政管理栄養士、行政防災担当、日本赤十字奉仕団体岩手支部、自主防災組織、食生活改善推進委員、大学生、など ・職能団体向け人材育成研修:岩手医科大学と連携しながら開催 ・東北ブロック小児アレルギーエドゥケーター育成研修会 対象:小児アレルギーエドゥケーター
4 調査・研究	・給食実態調査 対象:保育園、幼稚園、こども園、学校 調査時期:検討中 ・乳幼児健診時における食物アレルギーの実態調査(全県) 対象健診:3, 4月健診、1歳半健診、3歳児健診を実施
5アレルギー疾患対応への助言、支援	・アレルギー相談窓口 子どものアレルギー、食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、を中心とした相談や指導者への助言 電話、ズームによる相談 毎週金曜日11:00~13:00、メールによる相談 随時
6 その他	・「アレルギー疾患の発症予防・重症化予防」情報発信 ・「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン(岩手県版)」の作成

アレルギー疾患に関する診療体制の把握について

資料 3

令和8年7月27日
第1回岩手県アレルギー
疾患医療連絡協議会

【目的】

- 県内におけるアレルギー疾患の診療体制を把握し、情報を公開することで、県民が適切な医療機関を選択できるよう支援する。
- 医療機関間の連携強化に向けた基礎資料を整備する。

【調査の概要】

- 対象 : 県内のアレルギー診療を行う医療機関
- 項目 : 診療可能な疾患、検査・治療の可否、安全体制 等)
- 方法 : 県の電子申請・届出サービスを活用したアンケート調査

【調査票の設問・選択肢(概要)】

項 目	設 問
1 基本情報	(1)医療機関名 (2)所在地 (3)診療科 (4)診療可能年齢(小児、成人、全年代)
2 診療体制	(5)診療可能なアレルギー(気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、花粉症、アレルギー性結膜炎、食物アレルギー、その他)
3 検査	(6)血液検査(特異的IgE)の実施可否 (7)食物負荷試験の実施可否
4 治療	(8)舌下免疫療法の実施可否 (9)エピペン処方の可否
5 安全体制	(10)急変対応(アドレナリン、酸素吸入)の体制 (11)入院設備の有無
6 その他	(13)その他(自由記載欄) (14)ホームページでの公開同意

【調査を実施するうえでの課題】

- 対象となる医療機関の把握、調査範囲の設定
- 定期的な更新確認の仕組みも併せて検討が必要
- 食物負荷試験等、既に学会が集約し公表している情報もあり、県が独自に情報を収集・掲載することの意義

【調査結果の具体的活用例(案)】

- 「アレルギーポータルいわて」上で公開し、県民の情報へのアクセス向上を図る
- 地域医療機関間の連携を図る

【今後のスケジュール】

- 調査項目の精査、調査票の作成：令和8年9月
- 調査方法の検討、医師会等関係機関との調整：令和8年10月
- 調査実施：令和8年11月
- 結果報告：令和9年2月(第2回協議会を想定)
- 結果公表：令和9年3月頃

学校における食物アレルギー対応における 事故及びヒヤリハット報告（令和7年度）

資 料 4

令和8年7月27日
第1回岩手県アレルギー
疾患医療連絡協議会

報告件数

時期	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
報告件数	2件	1件	2件	4件	5件	4件	1件	1件	1件	21件
誤食	1件	0件	1件	4件	4件	4件	1件	1件	1件	17件
ヒヤリハット	1件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	4件

岩手県と(公社)岩手県栄養士会との 災害時における支援協定の締結について

資料 5

令和8年7月27日
第1回岩手県アレルギー
疾患医療連絡協議会

協定内容と協定に基づく取組

岩手県と公益社団法人岩手県栄養士会が、相互に連携・協力し、災害時における栄養・食生活支援活動を迅速かつ円滑に実施することを目的に、令和8年7月6日下記の協定を締結しました。

(1) 災害時における食料調達に関する応援協定

・要配慮者用の特殊栄養食品の調達

乳幼児、高齢者、慢性疾患患者、食物アレルギー患者等、食事に配慮や制限が必要な方に適した特殊栄養食品等の調達

・被災者の栄養改善に資する食品の調達

栄養補給等、被災者の栄養状態を改善するために必要な食品の調達

(2) 災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定

・被災地域への管理栄養士等の派遣及び支援活動

派遣管理栄養士を調整、チーム編成し、被災地域にて栄養・食生活相談や避難所の食事状況調査、衛生指導等を実施

・災害に備えた平時からの研修、訓練の企画及び実施

管理栄養士等派遣体制の整備及び人材育成、技術向上への取組



今後、災害時のアレルギー疾患対策として相互連携のもと取組を進めたい事項

- 食物アレルギーを持つ被災者への食品・相談アクセス確保体制の整備と周知方法の検討
- 災害時支援活動を実施する管理栄養士人材育成

令和7年度岩手県アレルギー対策 自治体職員を対象とした人材育成

国立保健医療科学院 アレルギー疾患対策従事者研修

令和8年7月27日
第1回岩手県アレルギー
疾患医療連絡協議会

【研修の目的】

地域の実情に応じたアレルギー疾患対策の推進や対応の質の向上を図るため、アレルギー疾患について既に基本的な知識・経験を有し、地方公共団体で中心的な役割を担う保健師等に対して、新たに専門性の高い研修を実施し、必要な対応を講じることができるようになることを目的とする。



【派遣時期及び場所】

- (1) 派遣時期: 令和7年9月18日から9月19日まで 2日間
- (2) 派遣場所: 国立保健医療科学院 埼玉県和光市

【派遣者】岩手県保健福祉部健康国保課 保健師1名
(全国 17都道府県・4市から計21名の参加)

【研修内容】

1 講義: 日本におけるアレルギー疾患の現状(疫学) 保健指導のアレルギー疾患に関する調査	【外部講師】 海老澤 元宏 (一社)日本アレルギー学会理事長 佐藤 裕範 厚生労働省健康・生活衛生局がん疾病対策課リウマチ・アレルギー対策専門幹 中山 幸量 獨協医科大学医学部小児科学 助教 川本 典生 岐阜大学医学部附属病院小児科 臨床教授 小林 茂俊 帝京大学医学部小児科 教授
2-1 講義: アレルギー疾患に対する都道府県・市町村 拠点病院の役割、連携体制に関する取組(各論)	
2-2 演習(グループワークとミニレクチャー) テーマ: 地域の医療機関・自治体内連携	
3-1 講義: アレルギー疾患に対する災害時の取組	
3-2 演習(グループワークのミニレクチャー) テーマ: 災害時の連携	

【派遣に係る財源】 厚生労働省リウマチ・アレルギー対策国庫補助金1/2を活用